

## 24. 地震のとき固まった飼い犬は、揺れるたびにオロオロ

大森ハナ子 66歳 主婦 大田区在住

- どこに誰といましたか。その時とった行動は？

自宅にいました。主人とペットの犬と一緒にでした。ガスレンジの火が消えているかチェックし、テーブルの下に入りましたが、あまりに揺れが長いので、どこが一番揺れるかを、家中を歩いてチェックしました。二階の書斎がいちばん揺れました。それと、まずテレビをつけました。

- 何か被害はありましたか。

積んであった本が少し崩れ、額も少し倒れましたが、そのほかのものは変化がありませんでした。たくさんある食器類は無事でした。電話が通じなくなったのは不安でしたが、停電にならなかったのもテレビが重要な情報源でした。

- そのとき、身内は？ ペットは？

主人はいちばんよく揺れた書斎で読書中。「僕はぜんぜん平気だった。」ホント？娘は会社にいましたが、日比谷の12階の建物は免震のため、地震の揺れが収まっても10分くらいは揺れていたとのこと。その後、徒歩で帰宅しましたが、道路の混雑で三時間かかったそうです。雌の三歳の飼い犬は、自分の陣地である娘のクローゼットの中で固まって、出て来ませんでした。今も揺れるとオロオロします。

- 最後にひとこと。

備えあれば憂いなし・・・といいますが、準備できることは限られていますし、本当に死ぬまで大きな地震は来て欲しくないです。ともかく、私の住む古家は、区の診断では耐震構造にしないと危ないようです。築40年木造二階建てで、地震に遭うと捻るように壊れる危険があると言われました。特に大森のこの付近は、もと田んぼで、用水路が縦横に走っていたとのこと。地盤沈下も液状化も・・・。東京湾の海に近いので、津波もあるかと思うとこわいです。

2011年9月3日